



COMPANY HISTORY

- 平成16年 6月
会社設立
- 平成16年12月
建設業山口県知事許可（般-16）第19368号取得
- 平成17年12月
山口県産業廃棄物収集運搬業許可第03506123733号取得
- 平成18年 2月
山口県産業廃棄物収集運搬業績替保管場所設置許可
- 平成18年 3月
アスベスト飛散防止処理工事を開始
- 平成20年 3月
石炭灰再生資材カプセル、山口県リサイクル製品認定取得
- 平成21年 4月
株式会社ヒロ建設に組織変更

BUSINESS

- ・土木工事 ・舗装工事 ・建築工事
- ・雑草防除工事 ・雑草防除材販売
- ・産業廃棄物の収集運搬、処理、再生

株式会社 ヒロ建設

〒757-0002 山口県山陽小野田市大字郡1882-3
 TEL: 0836 (75) 0861 FAX: 0836 (75) 0551
<http://www.hiro-kensetu.net/>
info@hiro-kensetu.net



このカタログは予告なしに変更することがあります。
2009年12月作成

環境にやさしいリサイクル

雑草防除材

カプセル

山口県リサイクル認定製品 製品番号252号

株式会社 ヒロ建設



継続的に起こる雑草問題

景観

- ・ゴミ問題
- ・景観悪化
- ・交通事故

経費

- ・作業員コスト
- ・諸経費コスト
- ・補修コスト

時間

- ・作業に時間がかかる
- ・交通渋滞

車社会の現代、都市部から地方へ幹線道路・高速道の整備が進み思うままに目的地へ導いてくれます。

その便利さにゆえに車窓からの景観に対する意識と快適な環境に対する要望が求められています。

このような中、中央分離帯では樹木と雑草が覆いかぶさり、交通の進路を塞ぎ事故への引き金になっております。しかも雑草の伸びている場所には空き缶やゴミが放置され、景観や環境を悪化させているのが現状です。

従来、雑草対策としては覆いシートやコンクリート施工による対応で雑草を閉じ込めていました。

しかしシートの切れ目やコンクリートの割れ目等の破損箇所より再び雑草は茂り補修等による時間・経費の負担を強いられています。

私たちは、樹木が生育している環境下で安全かつ合理的に施工を行うために初期同等の品質・耐久性が保たれ景観によく更に環境にやさしいリサイクル素材に対応できる製品を長期に亘り研究を重ね雑草防除材カプールを開発いたしました。

景観

実績 8 年経過
補修なしで
雑草もなし！

経費

作業時間縮小
による人員コスト
ダウン！！

時間

草刈・伐根後に直接
施工でき従来工法に
比べ短時間での施工
！！！！

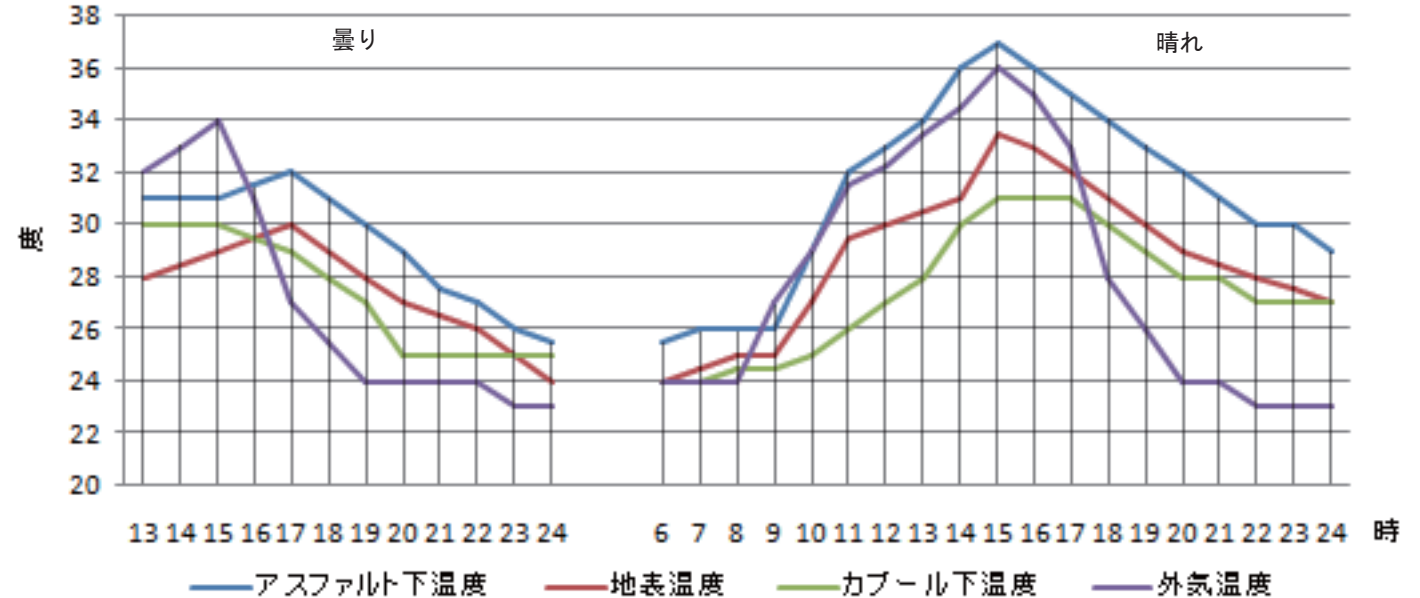
カプールで解決！！！！！！

雑草防除材カプール成分分析結果

※計算方法：[土壤汚染対策法施行第5条の規定に基づき環境大臣が定める土壤溶出量調査に係るそうく亭方法] 環境省令第18号[溶出試験]による。

計量項目	計量結果	計量方法	土壤汚染に係る環境基準
鉛及びその化合物 (mg/L)	定量下限値 0.005未満	JIS k-0102.54.3 (1998)	0.01>
カドミウム及びその化合物 (mg/L)	定量下限値 0.005未満	JIS k-0102.55.3 (1998)	0.01>
六価クロム化合物 (mg/L)	定量下限値 0.02未満	JIS k-0102.65.2.1 (1998)	0.05>
ヒ素及びその化合物 (mg/L)	定量下限値 0.005未満	JIS k-0102.61.3 (1998)	0.01>
セレン及びその化合物 (mg/L)	定量下限値 0.005未満	JIS k-0102.67.3 (1998)	0.01>
水銀及びその化合物 (mg/L)	定量下限値 0.0005未満	水質環境基準告示付表1及び2	0.0005>
フッ素及びその化合物 (mg/L)	0.4	JIS k-0102.34.1 (1998)	0.8>
ホウ素及びその化合物 (mg/L)	定量下限値 0.1未満	JIS k-0102.47.3 (1998)	1.0>

アスファルト舗装とカプール舗装との地熱変化



特徴

- ・主原料は火力発電所から発生する石炭灰（リサイクル品）
- ・目地や、継ぎ目の隙間をなくすることが可能
- ・植樹への影響はない、景観に合わせた着色が可能
- ・従来の施工に比べ施工時間短縮により人員コスト減
交通渋滞の緩和となる
- ・透水性が高く水がたまりにくい
- ・ヒートアイランド現象の抑制効果も期待できる。
(アスファルト舗装と比べ表面温度が上昇しにくい)

袋詰めタイプ2010年販売予定
(地元施工業者様での施工も可能となります)

